

平成30年度決算審査における施策評価シート (分科会まとめ)

【 総務経済 分科会】

施 策 名	安全で安心な危機管理対策の推進
平成30年度 施策の評価 ①目標の達成状況、評価、課題認識は正しいか ②事務事業の組み立ての方向性は正しいか	①平成30年度の施策について、概ね適正に行われた。 ②市民ニーズ、事業の必要性、効果は概ね適正である。
施策に係る提言	<p><u>(1) 国民保護事業について</u> 市として必要な事業であり、いなべ市総合計画実施計画・財政計画において、「国民保護協議会の開催」を事業内容とし、目標値を設定していることを考えれば、国民保護協議会を開催するなどの取り組みが必要である。 国民保護協議会を開く必要がなければ、事務事業そのものを見直す必要がある。</p> <p><u>(2) 防災会議事業について</u> 平成30年度は会議の実績がない。 防災計画（震災編）には、「東海大地震情報で防災会議を立ち上げる“ことになっているが、南海トラフ地震や豪雨災害について明記するなど見直しが必要となっている。防災会議を招集し、早急に防災計画を見直す必要がある。</p> <p><u>(3) 防災無線事業について</u> 市がFM放送を防災無線の手段として活用する以上、各戸配付したラジオの使用について市民に浸透させる必要がある。 移動系に関しては、広範囲にわたる市の状況を迅速に伝達し合うことができたと考える。 コミュニティFM放送運営補助金については、防災無線としての運営補助と市の広報事業、文化振興事業としての委託事業は分けて予算計上すべきである。</p> <p><u>(4) 災害対策用備蓄資材購入事業について</u> 市として計画的に備蓄は進められており、目標に向けて今後も取り組むべきである。また、期限切れ前の非常食についても計画的に訓練時や啓発活動に活用している。 今後、個人、自治会などで備蓄することの必要性についても積極的に啓発するとともに、企業、団体等との災害時応援協定を締結するなどし、必要な備蓄資材の拡充を望む。</p> <p><u>(5) 防災施設管理事業について</u> 現地調査の結果、施設は適正に管理されていることが確認できた。しかし、想定外の災害が全国各地で発生する昨今、危険箇所の見直しを行なう必要がある。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

(6) 消防団事業について

地域に密着性の高い各地区団における団員確保に関し、大変努力されていることが拝察された。また、地域性を鑑み特色ある活動がされていることも評価すべき点である。市と消防団がさらに連携し、消防団活動の環境が充実することを望む。

(7) 市単独河川維持改良事業について

河川堤防の整備、維持改良工事に関しては効果があり、適切に対応が行われている。しかし、昨今の気象状況を鑑みて、いつ起きてもおかしくない豪雨災害に対応するため、市が管理する河川の堆積土砂を計画的に浚渫すべきである。

また、員弁川散歩道除草作業については、道路除草事業として行うべきではないか。

(8) 自主防災活動事業について

組織育成のための補助金、資材の提供は適切に行われているが、自主防災組織は 119 自治会のうち 63 組織と半数に留まっている。

自主防災組織の必要性を更に市民へ啓発するとともに設立の支援を行う必要がある。いなべ市総合計画実施計画・財政計画において、「自主防災組織数」を事業の目標値に設定している以上、組織数をふやすための具体的な取組みを求める。

【総括】

本施策は、防災対策をはじめ災害対応、危機管理対策など、いなべ市民の生命と財産を守るための 17 事務事業で構成されている。施策に対する提言として、上記 8 事務事業について特記することとした。

全国的に見ても、近年の気象変動に伴う自然災害の発生状況が増加の一途をたどっており、数十年に一度と言われる大規模な自然災害が頻発している状況にある。

いなべ市においても令和元年 9 月 4 日夜から翌 5 日未明にかけての集中豪雨では市内各所において災害が発生した。このように、「いつ、何が起きてもおかしくない」状況に対し、市は出来る限りの備えと対策が求められている。

今だからこそ、有事に備え「自助・共助・公助」の役割と連携を明確にし、日ごろから地域コミュニティを醸成する施策とすべきである。

平成 30 年度決算審査における施策評価シート取りまとめ (分科会)

区分	施 策 名
2-1	安全で安心な危機管理対策の推進

事業名 国民保護事業

1. 議員評価を踏まえた分科会の項目別評価

評価内容	評価基準	評価数	分科会の評価	評価コメント
市民ニーズ	①きわめてニーズが高い(25点)	1	15	平時は市民にとって身近な事業ではないが、国民保護法に基づく事業として、いざという時に、市民にとって必要な事業となる。
	②ニーズが高い(20点)	3		
	③どちらかといえばニーズが高い(15点)	1		
	④どちらかといえばニーズが低い(10点)	2		
	⑤ニーズが低い(5点)	1		
	⑥ニーズがない(0点)			
市が行う必要性	①きわめて必要性が高い(25点)	2	20	法律に基づき、市民の安全を確保するのは市の役割。
	②必要性が高い(20点)	4		
	③どちらかといえば必要性が高い(15点)	1		
	④どちらかといえば必要性が低い(10点)			
	⑤必要性が低い(5点)	1		
	⑥必要性がない(0点)			
費用に見合った効果	①きわめて効果がある(25点)		5	平成 30 年度は会議を開いていない。平時でも、年に一度は会議を開催すべき。
	②効果がある(20点)	1		
	③どちらかといえば効果がある(15点)	3		
	④どちらかといえば効果がない(10点)	1		
	⑤効果が少ない(5点)	2		
	⑥効果がない(0点)	1		
目標の達成状況	①きわめて成果がある(25点)		5	Jアラートの試験放送は実施されたが、会議の実績がないため、目標は達成されていないと考える。
	②成果がある(20点)	2		
	③どちらかといえば成果がある(15点)	2		
	④どちらかといえば成果がない(10点)			
	⑤成果が少ない(5点)	3		
	⑥成果がない(0点)	1		

2. 分科会評価

評価	分科会の評価理由
3	市として必要な事業であるが、目標を設定している以上、協議会を開催するなどの取り組みが必要である。
6 きわめて良好である	
5 良好である	
4 おおむね適正である	
3 問題がある	
2 かなり問題がある	
1 不適正である	

3. この事業に対する提案

提案	提案、提言内容
4	協議会を開く必要がなければ、事業そのものを見直す必要がある。
5 拡充する	
4 改善し継続する	
3 現状のまま継続する	
2 縮小する	
1 廃止・休止する	

平成 30 年度決算審査における施策評価シート取りまとめ (分科会)

区分	施 策 名
2-1	安全で安心な危機管理対策の推進

2

事業名 防災会議事業

1. 議員評価を踏まえた分科会の項目別評価

評価内容	評価基準	評価数	分科会の評価	評価コメント
市民ニーズ	①きわめてニーズが高い(25点)	2	20	昨今、発生している災害に対し、市民も市を頼りにしている。
	②ニーズが高い(20点)	5		
	③どちらかといえばニーズが高い(15点)	1		
	④どちらかといえばニーズが低い(10点)			
	⑤ニーズが低い(5点)			
	⑥ニーズがない(0点)			
市が行う必要性	①きわめて必要性が高い(25点)	4	25	防災会議は市が開催するものである。
	②必要性が高い(20点)	4		
	③どちらかといえば必要性が高い(15点)			
	④どちらかといえば必要性が低い(10点)			
	⑤必要性が低い(5点)			
	⑥必要性がない(0点)			
費用に見合った効果	①きわめて効果がある(25点)	1	5	平成 30 年度は防災会議を開いていない。
	②効果がある(20点)	1		
	③どちらかといえば効果がある(15点)	3		
	④どちらかといえば効果がない(10点)	1		
	⑤効果が少ない(5点)	0		
	⑥効果がない(0点)	2		
目標の達成状況	①きわめて成果がある(25点)		5	防災会議の実績がないため、達成されていないと考える。
	②成果がある(20点)	2		
	③どちらかといえば成果がある(15点)	3		
	④どちらかといえば成果がない(10点)	1		
	⑤成果が少ない(5点)	0		
	⑥成果がない(0点)	2		

2. 分科会評価

評価	分科会の評価理由
6 きわめて良好である 5 良好である 4 おおむね適正である 3 問題がある 2 かなり問題がある 1 不適正である	平成 30 年度は会議の実績がない。

3. この事業に対する提案

提案	提案、提言内容
5 拡充する 4 改善し継続する 3 現状のまま継続する 2 縮小する 1 廃止・休止する	防災計画(震災編)には、”東海大地震情報で防災会議を立ち上げる”ことになっているが、会議を招集し、早急に見直す必要がある。

平成 30 年度決算審査における施策評価シート取りまとめ (分科会)

区分	施 策 名
2-1	安全で安心な危機管理対策の推進



事業名 災害対策本部事業

1. 議員評価を踏まえた分科会の項目別評価

評価内容	評価基準	評価数	分科会の評価	評価コメント
市民ニーズ	①きわめてニーズが高い(25点)	6	○	25 災害情報をいち早くつかみ、適切な情報発信を行うことが市民を守ることになる。
	②ニーズが高い(20点)	2		
	③どちらかといえばニーズが高い(15点)			
	④どちらかといえばニーズが低い(10点)			
	⑤ニーズが低い(5点)			
	⑥ニーズがない(0点)			
市が行う必要性	①きわめて必要性が高い(25点)	7	○	25 市民の安全を確保するうえで、中心となって取り組むことが必要である。
	②必要性が高い(20点)	1		
	③どちらかといえば必要性が高い(15点)			
	④どちらかといえば必要性が低い(10点)			
	⑤必要性が低い(5点)			
	⑥必要性がない(0点)			
費用に見合った効果	①きわめて効果がある(25点)	3		20 平成 30 年度に発生した災害警戒、警報に対し、迅速に災害対策本部は設置された。
	②効果がある(20点)	5	○	
	③どちらかといえば効果がある(15点)			
	④どちらかといえば効果がない(10点)			
	⑤効果が少ない(5点)			
	⑥効果がない(0点)			
目標の達成状況	①きわめて成果がある(25点)	3		20 災害対策本部機能は果たされた。
	②成果がある(20点)	4	○	
	③どちらかといえば成果がある(15点)	1		
	④どちらかといえば成果がない(10点)			
	⑤成果が少ない(5点)			
	⑥成果がない(0点)			

2. 分科会評価

評価	分科会の評価理由
5 6 きわめて良好である 5 良好である 4 おおむね適正である 3 問題がある 2 かなり問題がある 1 不適正である	平成 30 年度に発生した災害警戒、警報に対し、迅速に災害対策本部は設置された。引き続き、市民の安全・安心を守るべき適切な運営を継続されたい。

3. この事業に対する提案

提案	提案、提言内容
3 5 拡充する 4 改善し継続する 3 現状のまま継続する 2 縮小する 1 廃止・休止する	なし

平成30年度決算審査における施策評価シート取りまとめ (分科会)

区分	施 策 名
2-1	安全で安心な危機管理対策の推進



事業名 防災無線事業

1. 議員評価を踏まえた分科会の項目別評価

評価内容	評価基準	評価数	分科会の評価	評価コメント
市民ニーズ	①きわめてニーズが高い(25点)	1	15	市民が情報収集するにあたってニーズは高いが、市民が身近に情報収集するにはテレビ及びインターネットによるものが多い。
	②ニーズが高い(20点)	2		
	③どちらかといえばニーズが高い(15点)	5		
	④どちらかといえばニーズが低い(10点)			
	⑤ニーズが低い(5点)			
	⑥ニーズがない(0点)			
市が行う必要性	①きわめて必要性が高い(25点)	5	25	市がすべき事業である。
	②必要性が高い(20点)			
	③どちらかといえば必要性が高い(15点)	3		
	④どちらかといえば必要性が低い(10点)			
	⑤必要性が低い(5点)			
	⑥必要性がない(0点)			
費用に見合った効果	①きわめて効果がある(25点)		15	発災時の情報伝達手段として移動系の無線に関しては効果があった。
	②効果がある(20点)	1		
	③どちらかといえば効果がある(15点)	6		
	④どちらかといえば効果がない(10点)			
	⑤効果が少ない(5点)	1		
	⑥効果がない(0点)			
目標の達成状況	①きわめて成果がある(25点)		20	発災時には、迅速に的確な情報発信ができていた。移動系の無線は活用されていた。
	②成果がある(20点)	3		
	③どちらかといえば成果がある(15点)	4		
	④どちらかといえば成果がない(10点)	1		
	⑤成果が少ない(5点)			
	⑥成果がない(0点)			

2. 分科会評価

評価	分科会の評価理由	
5	市がFMを防災無線の手段として活用する以上、市民に浸透させる必要がある。 移動系に関しては、広範囲にわたる市の状況を迅速に伝達し合うことができていたと考える。	
		6 きわめて良好である
		5 良好である
		4 おおむね適正である
		3 問題がある
		2 かなり問題がある
1 不適正である		

3. この事業に対する提案

提案	提案、提言内容	
4	防災無線と市の広報事業(文化事業)は分けて予算計上すべきである。	
		5 拡充する
		4 改善し継続する
		3 現状のまま継続する
		2 縮小する
1 廃止・休止する		

平成30年度決算審査における施策評価シート取りまとめ (分科会)

区分	施 策 名
2-1	安全で安心な危機管理対策の推進



事業名 災害対策用備蓄資材購入事業

1. 議員評価を踏まえた分科会の項目別評価

評価内容	評価基準	評価数	分科会の評価	評価コメント
市民ニーズ	①きわめてニーズが高い(25点)	4	○	25 災害時、避難所で提供される非常食及び資材は重要である。
	②ニーズが高い(20点)	2		
	③どちらかといえばニーズが高い(15点)	2		
	④どちらかといえばニーズが低い(10点)			
	⑤ニーズが低い(5点)			
	⑥ニーズがない(0点)			
市が行う必要性	①きわめて必要性が高い(25点)	5	○	25 市民の命を守るため必要な事業。
	②必要性が高い(20点)	2		
	③どちらかといえば必要性が高い(15点)	1		
	④どちらかといえば必要性が低い(10点)			
	⑤必要性が低い(5点)			
	⑥必要性がない(0点)			
費用に見合った効果	①きわめて効果がある(25点)	1		20 計画的に備蓄されている。
	②効果がある(20点)	4	○	
	③どちらかといえば効果がある(15点)	3		
	④どちらかといえば効果がない(10点)			
	⑤効果が少ない(5点)			
	⑥効果がない(0点)			
目標の達成状況	①きわめて成果がある(25点)	1		20 高齢者、子どもに対する備蓄用資材は足りていないが、徐々に備蓄用資材は充実している。
	②成果がある(20点)	4	○	
	③どちらかといえば成果がある(15点)	3		
	④どちらかといえば成果がない(10点)			
	⑤成果が少ない(5点)			
	⑥成果がない(0点)			

2. 分科会評価

評価	分科会の評価理由	
5	市として計画的に備蓄は進められており、目標に向けて今後も取り組むべき。 期限切れ前の非常食についても計画的に活用している。	
		6 きわめて良好である
		5 良好である
		4 おおむね適正である
		3 問題がある
		2 かなり問題がある
1 不適正である		

3. この事業に対する提案

提案	提案、提言内容	
3	個人、自治会などで備蓄することの必要性についても積極的に啓発すべき。 引き続き、企業との協力関係も含め、必要な備蓄資材の拡充を望む。	
		5 拡充する
		4 改善し継続する
		3 現状のまま継続する
		2 縮小する
1 廃止・休止する		

平成30年度決算審査における施策評価シート取りまとめ (分科会)

区分	施 策 名
2-1	安全で安心な危機管理対策の推進


事業名 広域防災事業

1. 議員評価を踏まえた分科会の項目別評価

評価内容	評価基準	評価数	分科会の評価	評価コメント
市民ニーズ	①きわめてニーズが高い(25点)	1	15	災害時の救助に対する市民のニーズは高い。
	②ニーズが高い(20点)	2		
	③どちらかといえばニーズが高い(15点)	3		
	④どちらかといえばニーズが低い(10点)	2		
	⑤ニーズが低い(5点)			
	⑥ニーズがない(0点)			
市が行う必要性	①きわめて必要性が高い(25点)	5	25	孤立予測地区を抱えている当市では、整備しておく必要がある。
	②必要性が高い(20点)	1		
	③どちらかといえば必要性が高い(15点)	1		
	④どちらかといえば必要性が低い(10点)	1		
	⑤必要性が低い(5点)			
	⑥必要性がない(0点)			
費用に見合った効果	①きわめて効果がある(25点)	1	20	救助要請に対し迅速な対応ができています。
	②効果がある(20点)	4		
	③どちらかといえば効果がある(15点)	2		
	④どちらかといえば効果がない(10点)	1		
	⑤効果が少ない(5点)			
	⑥効果がない(0点)			
目標の達成状況	①きわめて成果がある(25点)	1	20	関係機関と連携し、機能を発揮することができている。
	②成果がある(20点)	4		
	③どちらかといえば成果がある(15点)	2		
	④どちらかといえば成果がない(10点)	1		
	⑤成果が少ない(5点)			
	⑥成果がない(0点)			

2. 分科会評価

評価	分科会の評価理由
5	2市2町による協定、山岳救助など関係機関と連携し、機能を発揮することができている。
6 きわめて良好である	
5 良好である	
4 おおむね適正である	
3 問題がある	
2 かなり問題がある	
1 不適正である	

3. この事業に対する提案

提案	提案、提言内容
3	なし
5 拡充する	
4 改善し継続する	
3 現状のまま継続する	
2 縮小する	
1 廃止・休止する	

平成30年度決算審査における施策評価シート取りまとめ (分科会)

区分	施 策 名
2-1	安全で安心な危機管理対策の推進

事業名 防災施設管理事業

1. 議員評価を踏まえた分科会の項目別評価

評価内容	評価基準	評価数	分科会の評価	評価コメント
市民ニーズ	①きわめてニーズが高い(25点)	4	○	25 市民の被害を最小限にするため必要な事業
	②ニーズが高い(20点)	2		
	③どちらかといえばニーズが高い(15点)	2		
	④どちらかといえばニーズが低い(10点)			
	⑤ニーズが低い(5点)			
	⑥ニーズがない(0点)			
市が行う必要性	①きわめて必要性が高い(25点)	6	○	25 行政が対応すべき事業
	②必要性が高い(20点)	1		
	③どちらかといえば必要性が高い(15点)	1		
	④どちらかといえば必要性が低い(10点)			
	⑤必要性が低い(5点)			
	⑥必要性がない(0点)			
費用に見合った効果	①きわめて効果がある(25点)	2		20 市民の命を守る事業として監視カメラ、施設管理などは必要である。
	②効果がある(20点)	4	○	
	③どちらかといえば効果がある(15点)	2		
	④どちらかといえば効果がない(10点)			
	⑤効果が少ない(5点)			
	⑥効果がない(0点)			
目標の達成状況	①きわめて成果がある(25点)	2		20 現地調査の結果、施設は適正に管理されていることが確認できた。
	②成果がある(20点)	5	○	
	③どちらかといえば成果がある(15点)	1		
	④どちらかといえば成果がない(10点)			
	⑤成果が少ない(5点)			
	⑥成果がない(0点)			

2. 分科会評価

評価	分科会の評価理由	
5	現地調査の結果、施設は適正に管理されていることが確認できた。	
		6 きわめて良好である
		5 良好である
		4 おおむね適正である
		3 問題がある
		2 かなり問題がある
1 不適正である		

3. この事業に対する提案

提案	提案、提言内容	
4	想定外の災害が発生する昨今、危険箇所の見直しを行なう必要がある。	
		5 拡充する
		4 改善し継続する
		3 現状のまま継続する
		2 縮小する
1 廃止・休止する		

平成30年度決算審査における施策評価シート取りまとめ (分科会)

区分	施 策 名
2-1	安全で安心な危機管理対策の推進



事業名 常備消防事業

1. 議員評価を踏まえた分科会の項目別評価

評価内容	評価基準	評価数	分科会の評価	評価コメント
市民ニーズ	①きわめてニーズが高い(25点)	6	○	25 火災や救急、災害救助に不可欠な常備消防は、極めてニーズが高い。
	②ニーズが高い(20点)	1		
	③どちらかといえばニーズが高い(15点)	1		
	④どちらかといえばニーズが低い(10点)			
	⑤ニーズが低い(5点)			
	⑥ニーズがない(0点)			
市が行う必要性	①きわめて必要性が高い(25点)	5	○	25 行政が対応すべき事業
	②必要性が高い(20点)	2		
	③どちらかといえば必要性が高い(15点)	1		
	④どちらかといえば必要性が低い(10点)			
	⑤必要性が低い(5点)			
	⑥必要性がない(0点)			
費用に見合った効果	①きわめて効果がある(25点)	4	○	25 市民の生命及び財産を守るため、適正な運営が図られている。
	②効果がある(20点)	3		
	③どちらかといえば効果がある(15点)	1		
	④どちらかといえば効果がない(10点)			
	⑤効果が少ない(5点)			
	⑥効果がない(0点)			
目標の達成状況	①きわめて成果がある(25点)	4	○	25 迅速な業務を遂行している。
	②成果がある(20点)	3		
	③どちらかといえば成果がある(15点)	1		
	④どちらかといえば成果がない(10点)			
	⑤成果が少ない(5点)			
	⑥成果がない(0点)			

2. 分科会評価

評価	分科会の評価理由
6	委託事業ではあるが、市民の生命及び財産を守るため、負担金の割合、運営については本部と十分な協議ができている。
6 きわめて良好である	
5 良好である	
4 おおむね適正である	
3 問題がある	
2 かなり問題がある	
1 不適正である	

3. この事業に対する提案

提案	提案、提言内容
3	なし
5 拡充する	
4 改善し継続する	
3 現状のまま継続する	
2 縮小する	
1 廃止・休止する	

平成30年度決算審査における施策評価シート取りまとめ (分科会)

区分	施 策 名
2-1	安全で安心な危機管理対策の推進

9

事業名 常備消防整備事業

1. 議員評価を踏まえた分科会の項目別評価

評価内容	評価基準	評価数	分科会の評価	評価コメント
市民ニーズ	①きわめてニーズが高い(25点)	7	○	市民の生命及び財産を守るために、ニーズはきわめて高い。
	②ニーズが高い(20点)			
	③どちらかといえばニーズが高い(15点)	1		
	④どちらかといえばニーズが低い(10点)			
	⑤ニーズが低い(5点)			
	⑥ニーズがない(0点)			
市が行う必要性	①きわめて必要性が高い(25点)	7	○	行政が対応すべき事業
	②必要性が高い(20点)	1		
	③どちらかといえば必要性が高い(15点)			
	④どちらかといえば必要性が低い(10点)			
	⑤必要性が低い(5点)			
	⑥必要性がない(0点)			
費用に見合った効果	①きわめて効果がある(25点)	4	○	市民の生命及び財産を守るため、適正な運営が図られている。
	②効果がある(20点)	3		
	③どちらかといえば効果がある(15点)	1		
	④どちらかといえば効果がない(10点)			
	⑤効果が少ない(5点)			
	⑥効果がない(0点)			
目標の達成状況	①きわめて成果がある(25点)	4	○	適正に車両管理や無線整備が成されている。
	②成果がある(20点)	3		
	③どちらかといえば成果がある(15点)	1		
	④どちらかといえば成果がない(10点)			
	⑤成果が少ない(5点)			
	⑥成果がない(0点)			

2. 分科会評価

評価	分科会の評価理由
6	市民の生命及び財産を守るため、十分な設備、整備がされている。
6 きわめて良好である	
5 良好である	
4 おおむね適正である	
3 問題がある	
2 かなり問題がある	
1 不適正である	

3. この事業に対する提案

提案	提案、提言内容
3	なし
5 拡充する	
4 改善し継続する	
3 現状のまま継続する	
2 縮小する	
1 廃止・休止する	

平成30年度決算審査における施策評価シート取りまとめ (分科会)

区分	施策名
2-1	安全で安心な危機管理対策の推進


事業名 消防団事業

1. 議員評価を踏まえた分科会の項目別評価

評価内容	評価基準	評価数	分科会の評価	評価コメント	
市民ニーズ	①きわめてニーズが高い(25点)	5	○	25	市民に身近な存在として、常備消防とは違う任務がある。行方不明者の捜索、夜警など防災の観点からも必要。
	②ニーズが高い(20点)	2			
	③どちらかといえばニーズが高い(15点)	1			
	④どちらかといえばニーズが低い(10点)				
	⑤ニーズが低い(5点)				
	⑥ニーズがない(0点)				
市が行う必要性	①きわめて必要性が高い(25点)	7	○	25	地域に密着した消防団活動を組織する必要がある。
	②必要性が高い(20点)	1			
	③どちらかといえば必要性が高い(15点)				
	④どちらかといえば必要性が低い(10点)				
	⑤必要性が低い(5点)				
	⑥必要性がない(0点)				
費用に見合った効果	①きわめて効果がある(25点)	4		20	本団活動及び各地区団活動や資機材の整備・点検も行われており、妥当である。
	②効果がある(20点)	4	○		
	③どちらかといえば効果がある(15点)				
	④どちらかといえば効果がない(10点)				
	⑤効果が少ない(5点)				
	⑥効果がない(0点)				
目標の達成状況	①きわめて成果がある(25点)	4		20	県下でも消防団員の充足率は高く、組織運営が安定的に行われている。
	②成果がある(20点)	4	○		
	③どちらかといえば成果がある(15点)				
	④どちらかといえば成果がない(10点)				
	⑤成果が少ない(5点)				
	⑥成果がない(0点)				

2. 分科会評価

評価	分科会の評価理由	
5	各地区団における団員確保に関し大変努力されていることが拝察された。また、地域性を鑑み特色ある活動がされている。 よって、資機材の管理、団員の確保、各訓練について適切に行われている。	
		6 きわめて良好である
		5 良好である
		4 おおむね適正である
		3 問題がある
		2 かなり問題がある
1 不適正である		

3. この事業に対する提案

提案	提案、提言内容	
3	事務局と消防団とより連携し、消防団活動の環境が充実することを望む。	
		5 拡充する
		4 改善し継続する
		3 現状のまま継続する
		2 縮小する
1 廃止・休止する		

平成30年度決算審査における施策評価シート取りまとめ (分科会)

区分	施策名
2-1	安全で安心な危機管理対策の推進

事業名 消防団研修訓練事業

1. 議員評価を踏まえた分科会の項目別評価

評価内容	評価基準	評価数	分科会の評価	評価コメント
市民ニーズ	①きわめてニーズが高い(25点)	2	20	市民サービスに直結した事業ではないが、消防団の資質向上は必要である。
	②ニーズが高い(20点)	2		
	③どちらかといえばニーズが高い(15点)	4		
	④どちらかといえばニーズが低い(10点)			
	⑤ニーズが低い(5点)			
	⑥ニーズがない(0点)			
市が行う必要性	①きわめて必要性が高い(25点)	6	25	行政が行うべき事業
	②必要性が高い(20点)			
	③どちらかといえば必要性が高い(15点)	2		
	④どちらかといえば必要性が低い(10点)			
	⑤必要性が低い(5点)			
	⑥必要性がない(0点)			
費用に見合った効果	①きわめて効果がある(25点)	3	20	平成30年度から新たに免許取得補助金を活用され、消防団の資質向上に効果は出ている。
	②効果がある(20点)	3		
	③どちらかといえば効果がある(15点)	2		
	④どちらかといえば効果がない(10点)			
	⑤効果が少ない(5点)			
	⑥効果がない(0点)			
目標の達成状況	①きわめて成果がある(25点)	3	20	機関訓練や免許取得補助金など、効果的に活用されている。
	②成果がある(20点)	5		
	③どちらかといえば成果がある(15点)			
	④どちらかといえば成果がない(10点)			
	⑤成果が少ない(5点)			
	⑥成果がない(0点)			

2. 分科会評価

評価	分科会の評価理由
5	消防団活動をより向上するために、機関訓練や免許取得補助金など、効果的に活用されている。
6 きわめて良好である	
5 良好である	
4 おおむね適正である	
3 問題がある	
2 かなり問題がある	
1 不適正である	

3. この事業に対する提案

提案	提案、提言内容
3	なし
5 拡充する	
4 改善し継続する	
3 現状のまま継続する	
2 縮小する	
1 廃止・休止する	

平成30年度決算審査における施策評価シート取りまとめ (分科会)

区分	施 策 名
2-1	安全で安心な危機管理対策の推進

12

事業名 消防団施設整備事業

1. 議員評価を踏まえた分科会の項目別評価

評価内容	評価基準	評価数	分科会の評価	評価コメント
市民ニーズ	①きわめてニーズが高い(25点)	4	20	市民の命を守るための施設があることは、市民の安心感につながる。
	②ニーズが高い(20点)	1		
	③どちらかといえばニーズが高い(15点)	3		
	④どちらかといえばニーズが低い(10点)			
	⑤ニーズが低い(5点)			
	⑥ニーズがない(0点)			
市が行う必要性	①きわめて必要性が高い(25点)	6	25	行政が行うべき事業
	②必要性が高い(20点)	1		
	③どちらかといえば必要性が高い(15点)	1		
	④どちらかといえば必要性が低い(10点)			
	⑤必要性が低い(5点)			
	⑥必要性がない(0点)			
費用に見合った効果	①きわめて効果がある(25点)	3	20	車両の更新など計画的に行われ、費用に見合った効果はある。
	②効果がある(20点)	3		
	③どちらかといえば効果がある(15点)	2		
	④どちらかといえば効果がない(10点)			
	⑤効果が少ない(5点)			
	⑥効果がない(0点)			
目標の達成状況	①きわめて成果がある(25点)	3	20	施設整備、車両更新など適切に行われている。
	②成果がある(20点)	3		
	③どちらかといえば成果がある(15点)	2		
	④どちらかといえば成果がない(10点)			
	⑤成果が少ない(5点)			
	⑥成果がない(0点)			

2. 分科会評価

評価	分科会の評価理由
5	施設整備、車両更新など計画的に行われ、費用に見合った効果はある。
6 きわめて良好である	
5 良好である	
4 おおむね適正である	
3 問題がある	
2 かなり問題がある	
1 不適正である	

3. この事業に対する提案

提案	提案、提言内容
3	なし
5 拡充する	
4 改善し継続する	
3 現状のまま継続する	
2 縮小する	
1 廃止・休止する	

平成30年度決算審査における施策評価シート取りまとめ (分科会)

区分	施 策 名
2-1	安全で安心な危機管理対策の推進

13

事業名 消防水利整備事業

1. 議員評価を踏まえた分科会の項目別評価

評価内容	評価基準	評価数	分科会の評価	評価コメント
市民ニーズ	①きわめてニーズが高い(25点)	4	○	25 消火栓や防火水槽の整備は地域にとって不可欠。また、自治会要望でも多く出されている。
	②ニーズが高い(20点)	3		
	③どちらかといえばニーズが高い(15点)	1		
	④どちらかといえばニーズが低い(10点)			
	⑤ニーズが低い(5点)			
	⑥ニーズがない(0点)			
市が行う必要性	①きわめて必要性が高い(25点)	6	○	25 行政が行うべき事業
	②必要性が高い(20点)	2		
	③どちらかといえば必要性が高い(15点)			
	④どちらかといえば必要性が低い(10点)			
	⑤必要性が低い(5点)			
	⑥必要性がない(0点)			
費用に見合った効果	①きわめて効果がある(25点)	4	○	25 老朽化した防火水槽の撤去及び新設を適切・計画的に行われている。
	②効果がある(20点)	4		
	③どちらかといえば効果がある(15点)			
	④どちらかといえば効果がない(10点)			
	⑤効果が少ない(5点)			
	⑥効果がない(0点)			
目標の達成状況	①きわめて成果がある(25点)	4		20 自治会要望に対して迅速な対応がなされている。
	②成果がある(20点)	4	○	
	③どちらかといえば成果がある(15点)			
	④どちらかといえば成果がない(10点)			
	⑤成果が少ない(5点)			
	⑥成果がない(0点)			

2. 分科会評価

評価	分科会の評価理由
5	消火栓の筒先を真鍮からアルミへ変更したこと及び予算執行率 103%と事業の必要性が高いことはわかる。地域のニーズに応じた事業となっている。
6 きわめて良好である	
5 良好である	
4 おおむね適正である	
3 問題がある	
2 かなり問題がある	
1 不適正である	

3. この事業に対する提案

提案	提案、提言内容
3	なし
5 拡充する	
4 改善し継続する	
3 現状のまま継続する	
2 縮小する	
1 廃止・休止する	

平成30年度決算審査における施策評価シート取りまとめ (分科会)

区分	施 策 名
2-1	安全で安心な危機管理対策の推進



事業名 市単独河川維持改良事業

1. 議員評価を踏まえた分科会の項目別評価

評価内容	評価基準	評価数	分科会の評価	評価コメント
市民ニーズ	①きわめてニーズが高い(25点)	2	20	近年の豪雨による河川氾濫などを考えると維持管理は必要である。
	②ニーズが高い(20点)	4		
	③どちらかといえばニーズが高い(15点)	2		
	④どちらかといえばニーズが低い(10点)			
	⑤ニーズが低い(5点)			
	⑥ニーズがない(0点)			
市が行う必要性	①きわめて必要性が高い(25点)	4	25	安全対策上、河川管理は市が行うべきものである。
	②必要性が高い(20点)	3		
	③どちらかといえば必要性が高い(15点)	1		
	④どちらかといえば必要性が低い(10点)			
	⑤必要性が低い(5点)			
	⑥必要性がない(0点)			
費用に見合った効果	①きわめて効果がある(25点)	3	20	河川堤防の整備、維持改良工事に関しては効果がある。
	②効果がある(20点)	2		
	③どちらかといえば効果がある(15点)	3		
	④どちらかといえば効果がない(10点)			
	⑤効果が少ない(5点)			
	⑥効果がない(0点)			
目標の達成状況	①きわめて成果がある(25点)	3	20	適切に対応している。
	②成果がある(20点)	3		
	③どちらかといえば成果がある(15点)	2		
	④どちらかといえば成果がない(10点)			
	⑤成果が少ない(5点)			
	⑥成果がない(0点)			

2. 分科会評価

評価	分科会の評価理由												
4	<table border="1"> <tr> <td>6</td> <td>きわめて良好である</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>良好である</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>おおむね適正である</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>問題がある</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>かなり問題がある</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>不適正である</td> </tr> </table>	6	きわめて良好である	5	良好である	4	おおむね適正である	3	問題がある	2	かなり問題がある	1	不適正である
6	きわめて良好である												
5	良好である												
4	おおむね適正である												
3	問題がある												
2	かなり問題がある												
1	不適正である												

3. この事業に対する提案

提案	提案、提言内容										
4	<table border="1"> <tr> <td>5</td> <td>拡充する</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>改善し継続する</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>現状のまま継続する</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>縮小する</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>廃止・休止する</td> </tr> </table>	5	拡充する	4	改善し継続する	3	現状のまま継続する	2	縮小する	1	廃止・休止する
5	拡充する										
4	改善し継続する										
3	現状のまま継続する										
2	縮小する										
1	廃止・休止する										

員弁川散歩道の除草作業は本事業ではなく、道路除草事業として行うべきではないか。
また、昨今の豪雨災害に鑑み市管理の河川の堆積土砂の撤去を計画的に行う必要がある。

平成 30 年度決算審査における施策評価シート取りまとめ (分科会)

区分	施 策 名
2-1	安全で安心な危機管理対策の推進

15

事業名 自主防災活動事業

1. 議員評価を踏まえた分科会の項目別評価

評価内容	評価基準	評価数	分科会の評価	評価コメント
市民ニーズ	①きわめてニーズが高い(25点)	3	20	半数以上の自治会で自主防災活動に取り組んでいる。防災において共助は必須である。
	②ニーズが高い(20点)	2		
	③どちらかといえばニーズが高い(15点)	3		
	④どちらかといえばニーズが低い(10点)			
	⑤ニーズが低い(5点)			
	⑥ニーズがない(0点)			
市が行う必要性	①きわめて必要性が高い(25点)	3	20	行政が自主防災組織を支援することは必要である。
	②必要性が高い(20点)	3		
	③どちらかといえば必要性が高い(15点)	2		
	④どちらかといえば必要性が低い(10点)			
	⑤必要性が低い(5点)			
	⑥必要性がない(0点)			
費用に見合った効果	①きわめて効果がある(25点)	2	20	組織育成のための補助金、資材の提供は適切に行われている。
	②効果がある(20点)	2		
	③どちらかといえば効果がある(15点)	4		
	④どちらかといえば効果がない(10点)			
	⑤効果が少ない(5点)			
	⑥効果がない(0点)			
目標の達成状況	①きわめて成果がある(25点)	1	15	平成 26 年から自主防災組織数が変わっていない。予算執行率は 40%と低い
	②成果がある(20点)	2		
	③どちらかといえば成果がある(15点)	5		
	④どちらかといえば成果がない(10点)			
	⑤成果が少ない(5点)			
	⑥成果がない(0点)			

2. 分科会評価

評価	分科会の評価理由
4	組織育成のための補助金、資材の提供は適切に行われているが、自主防災組織は 119 自治会のうち 63 自治会と半数に留まっている。
6 きわめて良好である	
5 良好である	
4 おおむね適正である	
3 問題がある	
2 かなり問題がある	
1 不適正である	

3. この事業に対する提案

提案	提案、提言内容
4	自主防災組織の必要性を更に市民へ啓発するとともに支援する必要がある。
5 拡充する	
4 改善し継続する	
3 現状のまま継続する	
2 縮小する	
1 廃止・休止する	

平成 30 年度決算審査における施策評価シート取りまとめ (分科会)

区分	施 策 名
2-1	安全で安心な危機管理対策の推進

16

事業名 防災施設整備事業

1. 議員評価を踏まえた分科会の項目別評価

評価内容	評価基準	評価数	分科会の評価	評価コメント
市民ニーズ	①きわめてニーズが高い(25点)	3	20	防災拠点施設整備(緊急避難場所や備蓄倉庫)の整備は、市民に必要とされている。
	②ニーズが高い(20点)	2		
	③どちらかといえばニーズが高い(15点)	3		
	④どちらかといえばニーズが低い(10点)			
	⑤ニーズが低い(5点)			
	⑥ニーズがない(0点)			
市が行う必要性	①きわめて必要性が高い(25点)	5	25	行政が行うべき事業である。
	②必要性が高い(20点)	2		
	③どちらかといえば必要性が高い(15点)	1		
	④どちらかといえば必要性が低い(10点)			
	⑤必要性が低い(5点)			
	⑥必要性がない(0点)			
費用に見合った効果	①きわめて効果がある(25点)		20	完成年度は令和2年度以降となるが、整備の効果はあると思われる。
	②効果がある(20点)	5		
	③どちらかといえば効果がある(15点)	2		
	④どちらかといえば効果がない(10点)			
	⑤効果が少ない(5点)			
	⑥効果がない(0点)	1		
目標の達成状況	①きわめて成果がある(25点)		15	事業全体としては遅れているが、平成30年度における事業としては計画どおり施工された。
	②成果がある(20点)	5		
	③どちらかといえば成果がある(15点)	2		
	④どちらかといえば成果がない(10点)			
	⑤成果が少ない(5点)			
	⑥成果がない(0点)	1		

2. 分科会評価

評価	分科会の評価理由
4	平成30年度における事業としては計画どおり施工された。
6 きわめて良好である	
5 良好である	
4 おおむね適正である	
3 問題がある	
2 かなり問題がある	
1 不適正である	

3. この事業に対する提案

提案	提案、提言内容
3	なし
5 拡充する	
4 改善し継続する	
3 現状のまま継続する	
2 縮小する	
1 廃止・休止する	

平成 30 年度決算審査における施策評価シート取りまとめ (分科会)

区分	施 策 名
2-1	安全で安心な危機管理対策の推進

17

事業名 河川道路橋梁災害復旧事業

1. 議員評価を踏まえた分科会の項目別評価

評価内容	評価基準	評価数	分科会の評価	評価コメント
市民ニーズ	①きわめてニーズが高い(25点)	5	○	25 被災した場合、早急な復旧を市民は望んでいる。
	②ニーズが高い(20点)	3		
	③どちらかといえばニーズが高い(15点)			
	④どちらかといえばニーズが低い(10点)			
	⑤ニーズが低い(5点)			
	⑥ニーズがない(0点)			
市が行う必要性	①きわめて必要性が高い(25点)	5	○	25 市が国・県と連携してすべき事業。
	②必要性が高い(20点)	3		
	③どちらかといえば必要性が高い(15点)			
	④どちらかといえば必要性が低い(10点)			
	⑤必要性が低い(5点)			
	⑥必要性がない(0点)			
費用に見合った効果	①きわめて効果がある(25点)	4		平成 30 年度は、幸い事業を必要とする災害がなく対応する事業がなかった。
	②効果がある(20点)	2		
	③どちらかといえば効果がある(15点)	1		
	④どちらかといえば効果がない(10点)			
	⑤効果が少ない(5点)			
	⑥効果がない(0点)	1		
目標の達成状況	①きわめて成果がある(25点)	3		平成 30 年度は、幸い事業を必要とする災害がなく対応する事業がなかった。
	②成果がある(20点)	3		
	③どちらかといえば成果がある(15点)	1		
	④どちらかといえば成果がない(10点)			
	⑤成果が少ない(5点)			
	⑥成果がない(0点)	1		

2. 分科会評価

評価	分科会の評価理由
6 きわめて良好である	平成 30 年度は、幸い事業を必要とする災害がなく対応する事業がなかった。
5 良好である	
4 おおむね適正である	
3 問題がある	
2 かなり問題がある	
1 不適正である	

3. この事業に対する提案

提案	提案、提言内容
5 拡充する	なし
4 改善し継続する	
3 現状のまま継続する	
2 縮小する	
1 廃止・休止する	